

コーディネーター通信 No.7

3年生 地域の方たちと一緒に道徳！

～ 公開授業 2/14(木) ～

地域・保護者の方々に参加を募り、地域と連携した道徳授業を試みた1日でした。よりよく生きる生き方について考える授業の話し合い活動に、ひと班にお一人ずつ6クラスで計50名を超える方に入っていました。地域の大人が生徒と一緒に考え、話し合う、はじめての取組でした。

～地域の方と打ち合わせ～



皆さん、どんなふうに授業に参加するのか、真剣に聞き入っていました。

～授業の様子～



- ・本当に良く考えて話をしようとしていた。
- ・全員が自分の意見を言って素晴らしかった。
- ・人を受け入れる雰囲気があり、生徒同士がサポートしあう姿が良かった
- ・一緒に参加した自分も、一生懸命に考え、楽しい時間だった。(地域感想)

あなたは、歌詞の中の十五の僕に向けてどんなメッセージを送りますか？

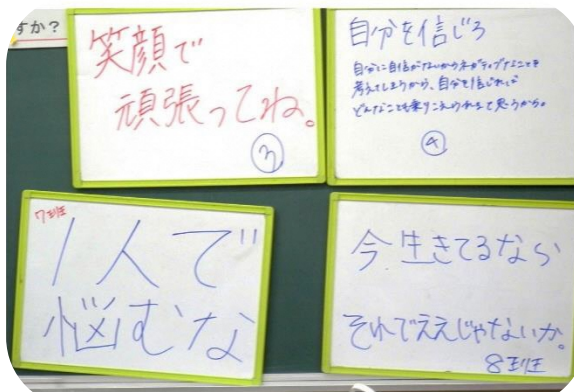
教材は、アンジェラ・アキの「手紙～拝啓15の君へ～」音楽や映像を使った事も良かったという感想が多かったです。



各班に地域の大人を交えて一緒に授業を受ける体験は、生徒にとっては、多様な人とふれあう機会となり、地域の方も今のリアルな学校現場を見ることができとても良いと思います。(地域感想)



大人から、15の君へ伝えたいのは…？



- ・話し合いの時間が短く、思考が深まるまでにはいかなかった。
- ・生徒の中にも温度差が大きくなる
- ・もっとたくさん交流したかった(地域感想)



～協議会の様子～



後半の協議会には、授業に参加した11名の地域や学生の方が参加してくださいました。

良かった点、もっとこうしたらという改善点など、どの協議グループも時間が足りないほど活発な議論がなされていました。このこと自体がこの取り組みの第一歩としての成功なのだと思います。

白熱した討議に思わず講師の先生も前のめりに！

平成 30 年度

地域と学校パートナーシップ事業推進会議 2/7(木)

校長先生のプレゼンテーション



とてもわかりやすい内容に皆さん納得



貴重なご意見、ご質問いただき活発な会でした

今年度は、より多くの地域の方に内野中のパートナーシップ事業を知っていただくために、お声がけの範囲を広げて開催しました。参加者の皆さんからは、「地域と学校パートナーシップ事業」への理解と、生徒やこの取組への励ましのご意見を頂きました。今後も地域と連携・協働していくことで「内野中が目指す生徒」と「地域が期待する人材」の育成へとつながっていくと感じました。

～推進委員一覧～

- ・内野中学校区青少年育成協議会
- ・内野五十嵐まちづくり協議会
- ・西内野コミュニティ協議会
- ・内野地区民生児童委員協議会
- ・西内野地区民生児童委員協議会
- ・新潟西商工会青年部 ・学校支援ボランティア
- ・西地区公民館 ・新潟市西区役所西出張所
- ・内野中、内野小、西内野PTA
- ・内野小、西内野小地域教育コーディネーター

～書写に入ってもらいました 12月～

書写の授業にボランティアに入ってもらった生徒の皆さんから感想をいただきました。

～生徒の感想～



・久しぶりにやったら全然うまくいかななくて困っていたら、ボランティアさんがダメなところを教えてくれて、最初よりだいぶうまく書けたと思った。

・漢字の筆運びや流れが難しく苦戦したが、ボランティアさんに教わって強弱をつけることで納得のいく習字ができた。

・習字があまり得意ではないが、ボランティアさんが指導してくださり本当に助かりました。もっときれいに字がかけるように普段から丁寧に文字を書くことを心掛けて、来年はもっときれいに書けるように頑張ります。

ありがとうコンサート参加 (吹奏楽部 in 内野小) 2/16



【校長コラム】『道徳』の教科化

来年度から「道徳」は「特別の教科 道徳」となり、教科化が実施されます。そのための準備として、2月14日(木)に第3学年を対象とした「道徳」の授業研修を行いました。

当日は、地域教育コーディネーターの働きかけにより、約50名の地域の方々が授業に「参画」していただき、卒業を間近に控えた3年生一人一人が「未来の自分について考える」ことについて生徒と協議し、助言をいただくことができました。また授業にとどまらず授業後の協議会にも参加してご意見をいただきました。

指導者としてご来校いただいた 早稲田大学教職大学院の田中博之先生も「地域の方が50人も参加する授業」「日本で(世界で)初めての授業」「アクティブ・ラーニングにチャレンジしている道徳」というように絶賛してくださいましたが、今回の実践は、地域との協働を先駆的に進めている「内野中らしい」実践となり、多くの成果を生み出すことができました。

田中先生は、「いろいろな子どもたちがいる中で、先生方のまとまりや子どもとの関係の良さ、地域の協力を感じさせてくれる学校です。お願いしてでも訪問させていただきたい学校です。」ともお話をされていました。

実践を通して多くの成果と課題を発見できました。課題を整理・分析して「内野スタイル」をさらに発展させつつ「特別の教科 道徳」の完全実施に繋がりたいと考えています。